

## 調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：地域政党きずな庄原議員団

報告者： 五島 誠

実施場所：テラスポ鶴舞	実施日：2月16日 9:30～12:00
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b> ・テラスポ鶴舞の取り組みについて	
<b>■参考とすべき事項</b> ・JFA 公認ロングパイル人工芝の多目的グラウンド2面とクラブハウスからなる施設、「テラスポ鶴舞」は愛知県サッカー協会が名古屋市の所有地、鶴舞公園内に整備しその後名古屋市へ寄付を行い指定管理を受けている施設である。その建設費は愛知県サッカー協会で作成したものである。また、その建設にあたってはスポーツ関係団体や企業から金銭や資材の寄付も相当あった。 ・名古屋市内の公園内にある施設という事で今後サッカーをされる方のみならずいろんな方が集まっていける仕組みを現在考えているとの事であった。 ・学生スポーツの拠点として、多くの学校の部活やまちクラブ、あるいは女子プロサッカーチームの練習拠点としても使われ、人気の施設である。	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b> ・人口芝のコートが二面あるという場所はなかなか多くないわけで、愛知県内でも有数の施設になっている。それを行政ではなく民間団体が施設設置をして行う仕組みづくりというのは大変参考になると感じた。また、人工芝のみならず天然芝のコートづくりについても示唆をいただき鳥取方式のやり方は非常に面白い取り組みであり、本市のスポーツ施設整備役立てることができるものであると感じる。 ・視察の際伺った、越後妻有のサッカーチームの成り立ちは半農半サッカーの取組であり過疎地でのスポーツチームの立ち上げなどに大変参考になると感じた。 ・やはり、県の競技団体などには専門性や各地の面白い取り組みなどの集積があり非常に学ぶことが多いので、様々な施設整備などを行う際に知見をいただくことは非常に重要である。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。

## 調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：地域政党きずな庄原議員団

報告者：徳永 泰臣

実施場所：テラスポ鶴舞	実施日：2月16日9：30～12：00
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b> ○名古屋市が所有している鶴舞公園に併設し、LED照明灯を有する人工芝多目的グラウンド2面・クラブハウスを建設し、様々なスポーツ活動を中心に幅広い活用をされているテラスポ鶴舞(市からの指定管理を受けている)さんに、施設の設置・運営についてのお話を伺った。	
<b>■参考とすべき事項</b> ○テラスポは、もともとあった市の所有の土地を愛知県サッカー協会が借り受け、全国サッカー協会の助成金1億円とリース会社とのリース契約、スポンサーやサッカー協会会員の寄付などにより建設され、建設後名古屋市に寄付、その後サッカー協会が指定管理を受けるといったかたちの施設である。 ○様々なスポーツ活動はもとより、地域コミュニティの場としても幅広く活用され、大規模災害時にはヘリポートや緊急物資の集積場などに活用されるなど社会的な役割も担っておられる。 ○また等施設は、日本サッカー協会の「サッカーを中心としたモデル的スポーツ環境整備事業」の助成金を受けて建設された施設で、完成後に日本サッカー協会から公式認定を受け、愛知県フットボールセンターとしての位置づけとなっている。 ○人工芝グラウンドであるので、稼働率も非常に高く2面あるグラウンドの稼働率は75%以上と空きのない状況が続いている。 ○指定管理料はゼロ円で、利用料や施設内にある駐車場収入により管理運営がなされている。	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b> ○庄原市もこうしたスポーツ施設を多く抱え、今後の利活用、指定管理などを考えていかねばならない時期に来ていると考える。 ○市としても積極的にこうした先進事例を参考に、より良い施設管理や指定管理のあり方を考えるべきである。	

## 調査・研修報告書（会派個人用）

会派名：地域政党きずな庄原議員団

報告者： 國利 知史

実施場所：テラスポ鶴舞	実施日：2月16日9：30～12：00
<b>■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）</b> 本市では、スポーツ施設のほとんどで指定管理者制度を導入している。鶴舞公園多目的グラウンドテラスポ鶴舞のPFI方式及び指定管理者制度についての視察を行った。	
<b>■参考とすべき事項</b> テラスポ鶴舞は歴史ある鶴舞公園に、愛知県サッカー協会が日本サッカー協会の助成金や地元企業、市民の寄付金等5億円をかけて人工芝サッカーフルコート2面とクラブハウスを整備している。名古屋市からの補助金などは一切入っていない。 施設を整備し、名古屋市に寄贈したうえで名古屋市より指定管理を受けている。指定管理期間は20年であり長期の契約となっている。 施設稼働率は整備前の土のグラウンドの時は65%であったが、人工芝となった現在は75%に向上している。また、名古屋市民への減免措置も全く行われていない状況でこの稼働率は注目すべき数字であると感じる。 今後は愛知県内の他の自治体2か所に同様の施設整備を行う予定となっている。 テラスポ鶴舞では名古屋市の意向もあるが、サッカーだけではなく他のスポーツでの利用を受け入れており、利用率の向上を図っている。また、地域の運動会やその他の市民の利用も推進しスポーツをしない人の利用促進も図っている。 鶴舞公園は市民が集う公園であり、ウォーキングなどの利用の他、家族連れなど様々な世代の住民の憩いの場所となっており、スポーツ利用以外の方が過ごせるスペースとなっている。 駅を降りて目の前という立地的優位性とカフェなどの併設もあり、市民がフラッと立ち寄ることができ、平日の昼間でも利用者が多い印象を受けた。	
<b>■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）</b> 本市でのスポーツ施設の管理運営に関して指定管理者制度をとっている施設がほとんどだが、稼働率や利用者をもっと増やしていく努力をする必要があると感じた。例えばクロカンパークは陸上以外の利用はほとんどない状況であるが、他のスポーツを受け入れることで稼働率も挙がり、宿泊者も増え交流人口も増えることが考えられる。 また、スポーツを核として、様々な世代の市民が集える場所を作っているという意味では、本市で計画が進む「多世代が集える場の整備」にも参考になると感じた。	

※ 調査・研修終了後、一週間以内に会派事務局へ提出してください。